

汎用性・実用性の高い三重大学版
アクティブ・ラーニング型授業の手引きの開発：
アクティブ・ラーニング型授業の
さらなる拡大を目指して

申請代表者：

教養教育機構アクティブラーニング推進室

スタートアップセミナー一部会長

下村 智子

(1) 取組の趣旨・目的

取組名称:

汎用性・実用性の高い三重大学版
アクティブ・ラーニング型授業の手引きの開発:
アクティブ・ラーニング型授業の
さらなる拡大を目指して

❖ 目的:

全学の授業に適用可能な授業形態別手引き書の開発



教養教育のみならず、全学レベルでの
AL型授業の推進及び拡大

(1) 取組の趣旨・目的

- ❖ 教養教育機構におけるアクティブ・ラーニング(AL)に対するこれまでの取組
 - ❖ AL領域科目(スタートアップセミナー、教養ワークショップ)の設置
 - ❖ 学生参加型/双方型の授業実践の蓄積
 - ❖ スタートアップセミナー部会及び教養ワークショップ部会、それら二部会を統括するAL推進室の設置(2016年度～)
 - ❖ FD・シンポジウム(2016年度)の開催
- ❖ AL拡大の障壁
 - ❖ 既に実践されているAL型授業の実績や成果が十分に共有されていない
 - ❖ AL型授業実践を行うための具体的方策に関する情報提供や方法論等の検討機会が不十分

(2)達成目標および(3)具体的内容・実施体制

① ALの観点に基づいた授業分析

- 対象授業：スタートアップセミナー、教養ワークショップ
- 分析対象：理論的枠組み、授業計画、学習形態、指導の目的と方法 等
- 学外の専門家による授業評価

② AL型授業実践のための授業形態別手引き書の開発

- ①の分析結果に基づく授業形態別手引き書の作成

③ 専門家による評価に基づく改善と学外への公表

- 研修会の実施による学外の専門家による評価・改善
- 学外への公表

❖ 実施体制

- ❖ 教養教育機構AL推進室

(5) 取組の実施計画

平成29年度

8月-11月 ALの観点に基づいた授業分析

学外の専門家による授業評価

12月-3月 授業形態別手引き書の内容の検討

平成30年度

4月-8月 授業形態別手引き書の作成

9月 研修会の開催:学外専門家による評価

10月-2月 内容の精査・改善

3月 学外への公開

まとめ

取組名称:

汎用性・実用性の高い三重大学版
アクティブ・ラーニング型授業の手引きの開発:
アクティブ・ラーニング型授業の
さらなる拡大を目指して

達成目標:

- ① ALの観点に基づいた授業分析
- ② AL型授業実践のための授業形態別手引き書の開発
- ③ 専門家による評価に基づく改善と学外への公表



- ❖ これまでの授業実践の蓄積や評価
- ❖ AL推進に関わる取組を継続的に行ってきた蓄積